

# ヒラギモクセイで葉脈標本をつくろう！

兵庫県立神戸高等学校 自然科学研究会 生物班

## ● どんな実験なの？

葉っぱには葉脈という無数の管があります。この管は水分や栄養分を運ぶためのもので植物にとって重要な役割を持っています。この実験は葉肉を落として、よりはっきりと葉脈を観察するために行います。葉肉は水酸化ナトリウム水溶液などのアルカリ性の水溶液で煮ると柔らかくなって取れやすくなります。

## ● 実験のしかたとコツ

10%の水酸化ナトリウム水溶液または重曹で1～2時間ほど煮ます。葉肉を溶かした後は水道水で十分に洗い流します。水を入れたお皿の中に葉っぱを置いて歯ブラシで上からたたいて葉肉を落とします。そうするとキレイに葉脈だけがのこります。



## ● 気をつけよう！

- ・この実験は、危険なので必ず大人の人といっしょにしてください。
- ・風通しのよい火の気のない場所で実験してください。
- ・手などについたらすぐ水で洗ってください。
- ・目に入ったらすぐに多量の水道水で洗い、お医者さんに見てもらいましょう。
- ・けっして上からのぞき込まないように！飛び散ることがあります。沸騰させないように注意しましょう。

## ● もっとくわしく知るために

- ・葉脈標本の作製方法については、次の本にくわしく書かれています。  
小泉貞明・水野丈夫 監修「図解実験観察大事典」p.96 東京書籍(1992年)